

### 平成31年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

初冬の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析および考察したものをと、今後の本校の教育活動についてお知らせ致します。

#### ◇本校の成果・課題と考えられる事項◇ ※全国平均のポイントよりも高い項目と低い項目

##### 国語

###### ※領域別に見ると

- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

△「書くこと」

###### ※内容別に見ると

- 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。
- 目的に応じて、質問を工夫する。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。(3問中2問)
- △情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の工夫の工夫を捉える。
- △目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。

##### 算数

###### ※領域別に見ると

- 「数量関係」「数と計算」

###### ※内容別に見ると

- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。
- 示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。
- △2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる。
- △資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。

#### 質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

##### ※「当てはまる」と答えた児童についてみると

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童は約4割で、平均より13ポイント高く、さらに「どちらかといえば当てはまる」をいれると9割以上になる。
- 先生は、よいところを認めてくれると思っている児童は7割で、自分にはよいところがあると思っている児童は6割である。これは、平均よりそれぞれ30ポイント、20ポイント高い。
- △将来の夢や目標をもっている児童は約6割で、平均より10ポイント低く、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している児童は、約3割で平均より4ポイント低い。
- △外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う児童は、約3割で平均より13ポイント低い。地域の行事には参加している児童は7割で、平均より30ポイント高いが、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童は、約1割で平均より6ポイント低い。

#### 以上の事項を踏まえた本校の課題

- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力の育成。
- ・多面的に捉えたり、分析的に捉えたりして、論理的に思考を深めていく力の育成
- ・夢や目標をもち、よりよい自分に高めていこうとする意欲と主体性

#### ◇学校として今まで以上に力を入れたいこと

- ・3年生以上は、国語辞典をいつでも活用できるように手元に置き、調べた言葉に付箋を貼って、語彙力を高め正しく文章を読み取る力を付ける。(国語、読書の時間など)
- ・1人1台のタブレット活用して、課題やテーマについて調べ学習をしたり、授業に組み入れて効率的により確かな理解を図ったりする。(教科、総合的な学習)
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く場を位置づける。考えの過程を大切にしたいノートづくりをする。(根拠をもとにした考えの的確な記述、年3回のノート交流会の実施)
- ・2つの資料を組み合わせる考えたり、段落をまとめたりする学習や対話型学習を重視し、多様な見方・考え方に会える場を位置づける。(教師の発問、場の設定、グループ・ペア交流、話し合い活動)

#### ◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・基本的な生活習慣づくりをする。(あいさつ、早寝、早起き、朝ご飯)
- ・テレビやゲーム、インターネットの時間などのルールを親子で話し合う。
- ・学習時間の確保と学習の見届けをする。(ノートの点検、励ましの声かけ)
- ・コミュニケーションの時間を確保する。(会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など)

